



JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第43号 (2015年4月17日)

ヘスス・カストロ=バルビ チェロ公開マスタークラス

10月にサントリーホール・ブルーローズで開催

10月10日(土)夜、Professor Jesus Castro-Balbi をお招きして チェロ公開マスタークラス/特別演奏会をサントリーホール・ブルーローズで開催致します。

Prof.Castro-Balbi はTCU(テキサス・クリスチャン大学) School of Music のチェロ科で教授を務めておられ、国際的に活躍されているartist-teacherです。



世界各地での演奏に加え夫人であるピアニストのMs.Gloria Linと定期的にデュオで演奏をされています。

今回は夫人と共に台湾と中国への演奏旅行の途中に日本に立ち寄られるものですが堤会長とのご縁でマスタークラスをお引き受け頂けることになりました。

なお本プログラムは2部制になっており、1部は通常の公開マスタークラス、2部は Prof.Castro-Balbi、Ms.Gloria Linそして堤 剛会長による特別演奏会となります。この演奏会では会員の小林幸太郎さん作曲のピアノトリオ (A piece for two cellos and the piano-仮題) も初演される予定です。

演奏会の詳細は追ってご案内いたしますので、どうぞご期待ください。

マスタークラス 概要

日 時：2015年10月10日(土)18:30開講(18:10開場)

場 所：サントリーホール・ブルーローズ(小ホール)

入場料：会員/無料 非会員/2,000円(全席自由席)

聴講申込方法：申込書、または氏名、住所、電話番号、メールアドレスをお書き添えの上、FAXまたはE-mailで事務局までお送りください。

締 切：2015年9月30日(水)

受講生募集：マスタークラス受講をご希望の方は別紙に必要事項をご記入の上、事務局までお送り下さい。

締 切：2015年7月31日(金)

チェロサロン5月に開催

菊地知也先生を囲んで



5月10日(日)、菊地知也先生主宰チェロサロンをサントリーホール・リハーサル室で開催します。今回のテーマは『楽器を豊かに響かせよう!』です。チェロに関するお悩みを抱えている方、アンサンブルの経験がある方もない方もこの機会にぜひご参加下さいませ。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

チェロサロン 概要

日 時：2015年5月10日(日)13:30開講(13:00開場)

場 所：サントリーホール・リハーサル室

会 費：会員/無料 非会員/1,000円

定 員：25名(+聴講10名で計35名)

申込方法：聴講申込書、または氏名、電話番号、メールアドレス、参加希望内容(クリニック受講・アンサンブル参加・聴講)、チェロ歴、希望パートをお書き添えの上、FAXまたはE-mailで事務局までお送りください。非会員の方には、当日受付にて参加費をお支払頂きます。

締 切：クリニック・アンサンブル参加/4月25日(土)

聴講/5月3日(日)

JCS NEWS 第43号 コンテンツ

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1 2015年度協会主催の催し | 6 後援コンサート情報のご案内・チェロサロン開催報告 |
| 2・3 第5回チェロの日開催報告 | 7 メンバース・コンサート情報 |
| 4・5 Cellist's update | 8 事務局からのお知らせ |

第5回チェロの日が閉幕

2月28日から3月1日にかけてチェロの日が開催され、今年も多く参加者や聴衆にお越し頂きました。「世界はチェロで出来ている」という壮大なキャッチコピーと共に開催された今回のチェロの日、初日の「チェロと仲良くなるコンサート」では3人のチェリストがピアノやヴァイオリンと共演、そして2日目の「チェロでひとつなるコンサート」では音楽コンクールに上位入賞した気鋭の若手チェロ奏者の演奏や恒例チェロ・オーケストラの演奏が披露され、多くのお客様に楽しみ頂きました。

■チェロと仲良くなるコンサート

ー3組6名のアーティストによるバラエティに富んだ共演ー

28日に開催されたチェロと仲良くなるコンサートは3部構成。多彩なプログラムが展開されました。

第1部には松波恵子さんが、桐朋音楽大学などで講師も務められるピアニストの川村文雄さんと共に登場。ポッパーの「ハンガリアン・ラプソディ」やシューマンの「民謡風の五つの小品」など、チェロの愛想曲を演奏。チェロ音楽にあまり馴染みがない方も、誠実な人柄が滲み出るようなお二人が演奏するメロディに聞き惚れているようでした。曲の合間には、ナビゲーターの田中裕子さん（フリーアナウンサー）とのトークにも応じて頂きました。田中さんから今後の活動について尋ねられた松波さんは、後進の指導にさらに力を入れていきたいことを語られました。



第2部には遠藤真理さんとヴァイオリンの川久保暁紀さんが登場、全国で活躍中の若手お二人が最初の演目エルガーの「愛の挨拶」を演奏すると、その情熱溢れる演奏に会場の熱気がさらに高まったようでした。インタビューでは、遠藤さんがタレント・俳優のふかわりょうさんとナビゲーターを務めるラジオ番組「きらくら!」(NHK-FM・日曜午後2時～)のことやプライベートでも川久保さんと深い親交があることなど、楽しい裏話が披露されました。



プログラムのフィナーレを飾る第3部では、長谷川陽子さんが若き俊英ピアニスト須関裕子さんと共に登場。演奏に先立って長谷川さんは、昨年新たに評議委員に就任されたことについて尋ねられると、「アウトリーチ活動などにも積極的に関わっていききたい」等と抱負を述べられました。お二人が奏でるラフマニノフの「チェロとピアノのためのソナタ」の甘美な調べに聴衆の皆さんも聴き入っていました。終演後には、コンサートにお越し頂いたおよそ350名のお客様から惜しめない拍手が送られました。



■チェリストの集い

今年の「チェリストの集い」には、チェロ協会会員を中心に約60名の方が参加、今回もチェロ・オーケストラでの演奏やそのリハーサル、さらにチェロ・ゼミナール(旧ラーニング・セッション)に参加しました。

○東京文化でリハーサルを実施

初日午前に行われたチェロ・オーケストラのリハーサルは、スペースやスケジュールの都合から、初めてサントリーホール外での開催となりました。会場となった上野の東京文化会館の楽屋口前には、リハーサル開始30分以上前からチェロを背負った人々が集まりはじめ、開場後直ぐに中リハーサル室が数多くのチェリストで埋め尽くされました。事前の自主練習はあったものの、今回初のメンバー揃ってのリハーサルとあって、演奏者はもちろん指揮者の山本祐ノ介先生のご指導にも力が籠もっていました。

○堤会長のチェロ・ゼミナール

チェロ・ゼミナールはチェロにまつわる様々なことを学びあう場。今年は「楽譜を音にする前に大切なこと」というテーマで、チェロ協会会長の堤剛さんを講師として開催しました。堤会長はチェロを演奏する上で基本かつ重要な点などについて熱弁。あっという間の1時間が過ぎてしまい、限られた時間を残念がる参加者もいらっしゃいました。チェロ・ゼミナールの様子は、実行委員・藤井直さんのレポートも併せてご覧下さい。



○懇親会も大盛況

「チェロと仲良くなるコンサート」の後に開催された懇親会には、チェリストの集い参加者やコンサート出演者など約70名が参加。コンサートで演奏した松波さん・遠藤さん・長谷川さんからスピーチを頂いた他、今回も「チェロの日」のキャッチコピーを担当頂いた阿南一徳さんやチェロ協会のウェブサイト更新にご尽力頂いた株式会社アイデアリズム井

出ご夫妻など、陰でチェロの日を支えて下さっている方にもお話ししました。また参加者同士、参加者と出演者などでも話は尽きないようで、翌日のチェロ・オーケストラ演奏に向けてテンションが高まっていくようでした。

■チェロでひとつになるコンサート

ー2人の若手とチェロ・オーケストラの演奏ー

開催2日目の午後には「チェロでひとつになるコンサート」が開演。第1部では最近音楽コンクールに上位入賞した榎本瑠音さん・藤原秀章さんのお二人が演奏しました。お二人は、それぞれ無伴奏曲をソロで演奏された他、ヘンデルのパスカルリア等をデュオでも披露、若々しさと超絶技巧に溢れた演奏に、会場が湧きました。

ーチェロ・オーケストラも大熱演ー

チェロの日のトリを飾るのが総勢60名を超える出演者で構成するチェロ・オーケストラによる大アンサンブル。チェリストの集い参加者や評議委員の先生方、そして第1部に出演された榎本さん・藤原さんもオーケストラのメンバーに参加して頂きました。

指揮者の山本祐ノ介さんは、父で指揮者の山本直純さんを彷彿とさせる赤いタキシードでのタクト姿がお馴染みとなりました。今回もチェロ・オーケストラの熱演を強力にリード。曲の合間には聴衆に向けてお話もして頂き、まさに演奏者と聴衆が「一つとなる」コンサートになりました。プログラム最後の大曲「ブラジル風パッサカリア第1番」(ヴィラ＝ロボス)が演奏されると会場は大きな拍手で満たされ、さらにアンコールとしてハイドンの「セレナーデ」、「『おくりびと』のテーマ」を演奏、無事に第5回チェロの日が閉幕しました。

今回のチェロの日でも、写真撮影や舞台監督など、様々な方のご協力を賜りました。ご出演下さった皆さまやチェリストの集いにご参加頂いた皆さま、ご来場頂いた皆さまはもちろん、チェロの日開催にご尽力下さった皆さまに心よりお礼申し上げます。

■チェロ・ゼミナール

ー「チェロを生きる」堤先生からの温かいメッセージー

(チェロの日実行委員・藤井 直 [R-305])

今回のチェロ・ゼミナールでは、チェロ協会の堤剛会長に講師を快く引き受けて頂き、実行委員で意見を出しあって「楽譜を音にする前に大切なこと」(誰でも親しみのある「白鳥」とバッハの「無伴奏組曲」を念頭に置きつつ)をテーマでお願いしようと決めました。堤先生からは、事前の打合せで「レクチャー形式ではなく参加者と輪になって語り合いたい」と提案頂きました。そこで座席の並びを教室風ではなくオーケストラを意識した扇形の配置にして、堤先生には指揮者のポジションにお座り頂きました。

当日は会場準備をしていたところ定刻前に堤先生が愛器を伴ってお一人で会場に入られてこられました。そしてケースから楽器を取り出されたので、急遽楽器用の椅子を用意してチェロと並んでお座り頂きました。楽器についてざっくりばらんに伺っているうちに、自然な流れでチェロ・ゼミ2015が始まりました。

幼少の頃の興味深い思い出話から斎藤秀雄、シュタルケルほか先生方のこと、フォイアマンの音と愛器モンタニアニャのこと、「白鳥」について、チェロ奏法の基本で大切な

ことなどなど。司会者として進行台本を準備していたのですが、次々と興味深い話が広がっていき、こちらも進行を思わず忘れて、ついつい堤先生のお話に聞き入ってしまいました。

参加された皆さんそれぞれに印象深い話題があるでしょうが、私が記憶に刻み込んだのは「先取り(アンティシペーション)の大切さ」です。楽譜の読み方もそうですし、音を出す前からヴィブラートをかけることもあるとか、ポジション移動のときの体の準備とか、息を吐いたり吸ったりのブレスの大切さなども強く印象に残っています。

以下、参加された皆さんのご感想や声をご紹介します。コメントさせて頂きたいと思います。

●「チェロを弾いていただけたのかと期待していた。」

愛器モンタニアニャをお連れいただいたのでその音色を聴いてみたかったと思われた方もおられたことでしょうか。いまでも精力的に演奏活動されておられますのでぜひコンサート会場へ足を運びましょう。私はアルバム「ORION」を愛聴しています。モンタニアニャ独特の太い低音の豊かな響き、愛器が美しいジャケット、選曲のバリエーション、深い息づかいまで聴くことができます。

●「もっとじっくりお話を伺いたかった。」

ぜひ続編を、という声をたくさん頂きました。バッハ演奏について聞く時間がほとんどなかったのが残念、とも。進行上の時間配分に工夫が足りなかったのですが、今回お話をうかがえた内容はどんな曲を演奏する上でも大切なことの数々ではなかったでしょうか。次の機会までお待ち頂く間、「チェロを生きる」(堤剛著・新潮社)を読まれることをお勧めします。優しい語り口調の中に『私にとってチェロを弾くことは生きること。一人でも多くの人にチェロ音楽の魅力を知って欲しい。』と表紙帯にある強いメッセージが随所に込められています。

●「あらためて楽器を弾きたくなった。」

今回お話頂いたことは演奏のためのハウツーではなくて、自分たちが好きな音楽とどう向き合っていくのが良いか、というとても大切なことではなかったでしょうか。「音楽をする上でプロ、アマチュアの区別などない。」「チェロを弾く以外のことに興味を持つことも大事。」「チェロとともに人生そのものを大切にされているお姿に、大きな感銘を受けました。

古希を迎えてますますお元気の堤先生に感謝しつつ、チェロ・ゼミのレポートを締めさせていただきます。



堀 了介 (R-032)

Ryosuke HORI

1. 近況を教えてください

現在、東京音楽大学で教えていますが、あと1年で取り敢えず定年です。今まで学校が忙しかったので、改めてチェロ人生を楽しんで行こうと思っています。

2. チェロを始めたきっかけを教えてくださいませんか？

父がチェリストでしたので、何となく習わされました。内緒ですが・・・最初、チェロはあまり好きではありませんでした。チェリストになれたのは斎藤秀雄という素晴らしい先生のお陰です。

3. ご兄弟も音楽をされていたんですね？

はい、兄(堀傳)はヴァイオリニストです。

4. 一番ワクワクするときは、どんなときですか？

演奏旅行では全国各地に行きましたが、観光はしていませんでした。チェロを持たなくても良い旅行に行くのが嬉しいです。

5. 一番リラックス出来るのは、どんなときですか？

チェロを弾いていない時です。チェロが嫌いな訳ではありません。

6. 他に好きなことはありますか？

仲の良い仲間と釣りを楽しんでいます。



7. プロのチェリストを目指している学生や若いチェリストに望むことはありますか？

チェロの練習は勿論、音楽以外の経験も沢山積む事です。

8. 今後のチェロ協会について伺います。どのような活動に力を入れていきたいとお考えですか？

音楽に、あまり身近でない人達ともチェロを通じて交流を深めていく事でしょうか。

9. 今後、何か予定されていることなどありますか？

今年の夏8月に、毎年行っている松波恵子さんの門下生共同チェロ合宿(木曽福島)を行います。今回で15回目なのですが、今年が最後となります。合宿OBのチェリスト達にも沢山参加して頂いて、9日の14時～16時には無料のコンサートと打ち上げを楽しく盛大に行います。また、5月に2枚目のデュオのCDを、娘の沙也香と収録予定です。1枚目は【花のワルツ】堀了介 (Vc)/堀沙也香 (Vc)/百武恵子 (Pf)。題名は未定ですが、発売は秋頃になります。

【演奏会情報】

デュオ・コンサート(仮)

日時/2015年12月10日(木)

場所/浜離宮朝日ホール

出演者/堀了介(Vc)、堀沙也香(Vc)、小森谷裕子(Pf)

松波 恵子 (R-345)

Keiko MATSUNAMI

1. 近況を教えてください

年に1度、弟子達の発表会をやっております。今年は35回目ですから、35年以上チェロの教師をやっていることになります。サイトウ・キネンオーケストラや水戸室内管弦楽団のメンバーも卒業しましたので、今、お仕事の中心は教える事です。2～3年に1度くらい、自分の演奏を発表したくなり、リサイタルなどを行っています。

2. チェロを始めたきっかけを教えてくださいませんか？

アマチュアでヴァイオリンを弾いていた父が、小学生だった私に始めさせました。当時はプロにさせるつもりはなかったようですが…。

3. オーケストラでチェリストとして演奏する醍醐味は何ですか？

オーケストラに限らずアンサンブルでは、ハーモニーを作る上で重要な低音を担っていますし、テンポやリズム感にも影響の大きなパートなので、責任も大きいのですが、満足感も大きいです。

4. 第5回チェロの日にご出演頂きましたが、ご感想はございますか？



なにしろチェロを熟知した方々の前での演奏ですので何日も前から緊張しておりましたが、当日は温かい空気が流れていて、私なりに楽しく表現する事が出来ました。毎年行っているチェロ・アンサンブルも、チェロならではの楽しみで素晴らしい催しだと思います。

5. 一番ワクワクするときは、どんなときですか？

色々ワクワクしておりますが・・・曲などを勉強していて、指使い、ボーイングや表情などの新しい発見や良いアイデアが浮かんだ時は、かなりワクワクします。

6. 今後どのようなチェリストとして活躍していきたいか教えてください。

大分年を取って来ましたので、“いつまで弾けるかな”という事は、常に意識しています。後から続く方達に「あの年までは弾けそうだ」と思って頂ける様、努力して行きたいと思っています。

【演奏会情報】

松波恵子 川村文雄 デュオ ～浪漫へのいざない～

日時/2015年6月27日(土)17:00開演

場所/HAKUJYU HALL

問/《松波・川村デュオ》事務局 TEL/FAX 042-676-9322

斎藤 建寛 (R-045)

Tatsuo SAITO

1. 近況や最近の活動を教えてください。

大阪の相愛大学音楽学部勤務し、後進の指導にあたっています。私は兵庫県の出身ですが、2011年2月に自然に開かれた県内の丹波篠山に移住し、関西圏での演奏活動、地元の音楽祭のプロデュース、自宅での定期的なティータイムコンサートなどを行なっています。桐朋学園時代の恩師、斎藤秀雄先生がおっしゃっていた「地元地域の音楽文化のために働いてほしい」という最後のお言葉を胸に、この地を基盤に少しでも恩返しが出来ればと考えています。



2. チェロを始めたきっかけを教えてください。

小学校6年生の時に家庭の事情で転校し、音楽の授業でベートーヴェンの第9を聴いて稲妻に打たれたように感動しました。「作曲家になりたい」と相談に行ったピアノの先生が「演奏畑がいい」とチェロを勧めて下さったのですが、将来の生活のことも考えて下さったようです。いろいろなご縁に導かれて今の自分がいることに気づきます。

3. チェロ以外に好きなものがありますか？

30代後半から古いものに愛着が湧くようになりました。時代を経てなお美しく感じられるアンティークが大好

きですね。また読書、映画、絵画鑑賞など、“動”ではなく“静”的なものに心が寄るようです。

4. 関西地区でチェリストのネットワークなどがありますか？

東京に比べてまだまだ積極的なネットワークが育っていないという印象です。勤務先の相愛大学ではチェロの教員、卒業生、在校生が一同に会してチェロアンサンブル演奏会を行なうなどの活動を展開しています。数年前よりお互いの絆を深めようと、この集いを「相愛チェロファミリー」と呼ぶようになりました。

5. 今後のチェロ協会について伺います。どのような活動に力を入れていきたいとお考えですか？

チェロ協会のスタッフの方々の才気溢れるご発想と実行力には日頃から敬服しています。その活動が中心地の東京だけではなく、少しずつでも放射状に全国に広がってけると良いと考えています。そのお役の一端を担えればと思っています。

【演奏会情報】

相愛チェロファミリー・チェロアンサンブル演奏会(仮称)

日時／2015年9月20日(日)

場所／いずみホール(大阪)

問／相愛大学音楽学部(06-6612-3954)

斎藤建寛(079-597-3113)

矢口 里菜子 (S-096)

Rinako YAGUCHI

1. 近況を教えてください。

1月末にドイツより帰国いたしました。有り難いことにリサイタルやコンチェルトでベテランの演奏家の方々とご一緒させて頂く機会が続いております。

春以降は室内楽や、在京オーケストラのエキストラにもお声かけいただいていますので、経験の幅がさらに拡がりそうです。



2. チェロを始めたきっかけを教えてください。

両親ともにチェロを弾いておりましたので、分度器が弾ける身体が大きくなったときに自然と始めました。

3. 一番ワクワクするときは、どんなときですか？

演奏依頼を頂いたときや、新たなレパートリーに取り組むときです。プレゼントやお手紙を開封するときのような気持ちになります。

4. ドイツ・ドレスデン音楽大学に留学されていましたが、その時のエピソードなどを教えてください。

ゼンパー歌劇場がほぼ毎日開いており、シュターツカペレドレスデンを含め、一流の音楽やオペラを生活の一部として聴きに行けたことが、留学して一番糧となった経験でした。興味のあるコンサートがあれば他の街へも度々出かけました。

最も強く記憶に残っているのは、ヤンソンス指揮バイエルン放送響のコンサートを、たまたま関係者席を頂いて一番前で聴かせて頂いたことです。ヨーヨー・マがソリストのシューマンの協奏曲も素晴らしかったですし、後半のチャイコフスキー悲愴では、ドイツのオーケストラの真髄というか、まさにオケ全体が肩を組んで迫ってくるような響きに、恐怖を感じるほど感動しました。なぜ音楽においてドイツがトップクラスなのか、私は日本人のチェリストとして何が出来たのか、度々考えさせられました。

5. 今後どのようなチェリストとして活躍していきたいか教えてください。

これまでの音楽ファンの方々にももちろんですし、同世代や、さらに若い聴衆にも楽しみに聴きにきて頂けるようなチェリストになれたらと思っています。

とある方のレッスンで「演奏家は舞台でお客様に夢を見せなければいけないのだから」という言葉を聞きました。こういう言葉にすると少しくすぐったいような感じもありますが、それが表現者のつとめなのではと思いますので、少しでもそれが出来るよう更に自分を磨いてゆきたいです。

私自身は、以前から室内楽を演奏することがとても好きで、最もやりがいを感じるもののひとつなので、更に経験を積んでレパートリーを増やしたいです。

日本チェロ協会主催以外の催し物から

チェロ科創設60周年記念 第25回スズキ・メソード チェロ全国大会 (公益社団法人才能教育研究会)

平成27年3月27日、スズキ・メソードで知られる(公社)才能教育研究会は、チェロ科創設60周年を記念して「第25回スズキ・メソード チェロ全国大会」を文京シビックホールで開催しました。このイベントには日本チェロ協会も後援している他、堤剛会長をはじめ加藤文枝さん・黒川実咲さん・森田啓佑さんがゲストとして出演されました。

多くの若きチェリスト達が参加したこのコンサートでは、ゲストの皆さんによる独奏やヴァイオリン科とチェロ科の生徒との共演、そしてチェロ総勢399名(チェロ科258名、ヴァイオリン科113名、OB28名)によるアンサンブルや斉奏が行われ、会場一杯に詰めかけたご父母や聴衆は迫力ある演奏に盛大な拍手を送っていました。

このコンサートの意義について、スズキ・メソードの教室を主宰・指導に当たっている日本チェロ協会の中島顕副会長は「1951年カザルスのもとで薫陶を受けた佐藤良雄先生が帰国され、鈴木鎮一先生と伴に手を取り合いスズキメソードのチェロ科が発足しました。今年その60周年を記念し3月27日文京シビックホールで『第25回スズキメソードチェロ全国大会』を開催しました。このホール(旧文京公会堂)は1961年カザルス来日の折スズキの子ども達の演奏を聞いたカザルスが『音楽は世界を救うであろう』の歴史的なメッセージを残された場でもあります。今回はカザルスへのオマージュをコンセプトに、一部では生徒のチェロアンサンブル、チェロ協会のお馴染みのスズキ出身の森田啓介、黒川実咲、加藤文枝の三人の演奏。二部は堤会長に『鳥の歌』を演奏して頂き、OBの演奏、最後に全国から集まった250数名のスズキチルドレンがフォーレのエレジーからキラキラ星を演奏しました。スズキの音楽を通しての人間教育をモットーにこの日のために練習を重ねてきた子ども達のハツラツとした演奏とOBまた圧巻の堤会長の演奏、世代を超えて会場いっばいに鳴り響くチェロサウンドに深い充実感を得られたコンサートとなりました。そのことは終演後の子ども達の晴れ晴れとした表情がそれを物語っていたと思います。」と述べています。

第5回 1000人のチェロ・コンサート ～仙台から伝えたい、1000チェロの響きに想いをのせて～ (第5回1000人のチェロ・コンサート実行委員会・NPO国際チェロアンサンブル協会)

阪神・淡路大震災復興支援と世界平和を祈念して1998年に初めて開催された「1000人のチェロ・コンサート」が、東日本大震災で大きく傷ついた東北の地・仙台で平成27年5月24日に開催されます。今回で5回目を数えるこのコンサートでは、指揮者に田久保裕一氏らを、コンサートマスターにはソーン・ウンホン氏を迎えて、全国から集まる約910名のチェリスト、約100名の合唱団が演奏します。

出演参加は4月10日に締め切られているものの、演奏会のチケットは現在販売中とのことです。チケットは、電話の場合は電子チケットぴあ(電話0570-02-9999、Pコード251-128)、窓口の場合はチケットぴあ店舗・サークルKサンクス・セブンイレブン等で取り扱われると言うことで、詳細は

NPO国際チェロアンサンブル協会のウェブサイトをご参照下さい。

【第5回1000人のチェロ・コンサート】

日時：平成27年5月24日 14時開演

会場：ゼビオアリーナ仙台

【NPO国際チェロアンサンブル協会】

<http://1000cello.vc/index.html>

このコンサートの制作を統括する同協会の畑井貴晶理事は「被災地の鎮魂と復興祈念の思いで行うところは今までと同じですが、会場のゼビオアリーナの機能を活かし4面スクリーンを活用したり、また津波を描いた巨大水彩画3枚(5.4m×16.5m)に囲まれて演奏をするなど、これまでとはだいぶちがう、このコンサートを手作りする者達と演奏者の熱い思いが横溢する、めくるめく世界観をお見せしたいと思っています。ぜひ仙台までお越しください。」と意気込みを語りました。

チェロサロン開催報告

去る2014年11月16日、サントリーホール・リハーサル室にて、長谷川陽子さんをお迎えし、『音の滑舌、良くしよう!』をテーマにチェロサロンを開催いたしました。

クリニックには、芳山朋史さん(R-279) [バッハ：無伴奏組曲1番よりアルマンド]、出石直さん(R-403) [サンサーンス：協奏曲第1番]、そして田島直樹さん(R-311) [バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番プレリュード]の3名に受講頂きました。3名ともチェロ歴30年以上とベテランながら、日々の練習の中で抱えている悩みを中心にレッスンして頂きました。具体的には滑舌良く滑らかに聴こえる弾き方、粒立ちの良い音、レガートの弾き方・唄い方、upからdownへの弓の返し方等が挙げられ、熱心に受講されていました。受講者と同じ問題点を持つ聴講者からも頷きの声が漏れ、真剣な眼差しで受講の様子を聴講されていました。

アンサンブルは、クレンゲル作曲の即興曲Op.30、ワーグナー作曲の巡礼の合唱(タンホイザーより)の2曲を取り上げました。長谷川さんは、演奏の合間に次のようなことを挙げて、参加者と共に曲を創り上げていかれました。同じ演奏記号の指示でも全て同じ意味に捉えず、前後の小節の内容により演奏方法を変化させる、拍の頭を意識する、フレーズを感じながら弾く等。そして、各パートの対話、お互いのメロディーを活かす奏法を演奏を交えながら説明されました。

また、アンサンブルにおいて共通のイメージを持って演奏することの大切さを伝えていらっしゃいました。時折、ご自分のレッスンの体験談等を話され会場内は終始和やかな雰囲気でした。その後の懇親会には長谷川さんを囲んで楽しい時間を過ごされていました。参加者の皆様、そして丁寧なご指導を頂いた長谷川陽子さんに心より感謝申し上げます。今回のチェロサロンもお楽しみに!

参加人数：40名<講師1名、クリニック・アンサンブル22名、聴講14名(会員：29名・非会員：7名)、スタッフ3名>

メンバーズ



芳山 朋史さん (R-279)

チェロサロンを受講して

チェロサロンに数回参加させて頂くうちに、クリニックで音が如実に変わっていく様子を指を咥えて見ているだけではなく、受講して自らをも変えてみたいと思い今回応募させて頂きました。実際には当日私は真っ白になってしまいましたが、そんな中、原因だけでなく対処法についても懇切丁寧に教えて頂きました。

・音の立ち上がりを良くする。弾きながら準備するのではなく、右手を置いてきちんと準備してから弾く。それ

には、上腕/肩甲骨等を自由に使えるようになると楽にできる。

・もっと先を見据えて弾く。まずどの音をどう鳴らしたいかを整理整頓してイメージする。数小節前から欲しい弓の場所に持っていけるように、また弓の角度の重心の置き方についても考慮する。

特に印象的だったのが、「和声が移り変わる瞬間に、神様が宿ってくる。そのためのスペースは空けておく、ただでそこで終ってまた新しく始めるのではなく、常に少しずつバトンタッチバトンタッチしてその余韻の中から音を生み出す。」という様な説明でした。

短い時間のなかこれだけ沢山の事を教えて下さった長谷川先生及びあたたかく見守って下さったチェロ協会の皆様ありがとうございました。今回の頂いたアドバイスをじっくり着実に自分のものとして、次回お会いできた際に変わったねって言われるようになりたいです。これまで参加されていなかった皆様も次回は是非ご参加を。

J.S.

Concert Information

会員の出演・主催する演奏会などをご案内いたします

J.S.

チェロカルテット

日 時／2015年5月3日(日)14:00開演 (山形公演)
5月4日(月・祝)17:00開演 (東京公演)

会 場／【山形】文翔館議場ホール
【東京】近江楽堂 (東京オペラシティ3階)

入場料／【山形】前売¥2,500 (当日¥3,000)
【東京】前売¥3,500 (当日¥4,000)

出 演／菊田雅治・久良木夏海・芝村崇・渡邊弾楽(Vc)
問 合／チェロカルテット実行委員会 TEL.03-5317-3977
http://kuraki723_info@yahoo.co.jp

～ピアノ&チェロの世界～ レ・クロッシュ リサイタル

日 時／2015年5月8日(金)19:00開演

会 場／東京文化会館 小ホール

入場料／一般¥3,500 学生¥2,000

出 演／宇宿直彰(Vc)、宇宿真紀子(Pf)

問 合／及川音楽事務所 TEL.03-3981-6052
<http://oikawa-classic.com>

女川に音楽を♪ 輝望の丘コンサート 第39回コンサート 女川から伝えたい 四本のチェロの響きに想いを乗せて

日 時／2015年5月23日(土)13:30開演

会 場／女川野球場仮設住宅集会所

入場料／無料

出 演／三木隆二郎、谷口仁宏、花房克磨、田中渚(Vc)

問 合／女川地区仮設歯科診療所 TEL.0225-53-3510

普段から病院や福祉施設での演奏に取り組んでいて、今回、仙台で行われる1000人のチェロに参加する全員アマチュア・メンバーです。

第5回1000人のチェロ・コンサート

～仙台から伝えたい、1000人チェロのの響きに想いをのせて～

日 時／2015年5月24日(日)14:00開演

会 場／ゼビオアリーナ仙台(宮城県仙台市太白区あすと長町1-4-10)

入場料／S席：¥4,400 A席：¥3,300 (全席指定)

問 合／NPO国際チェロアンサンブル協会 (ICES)
電子チケットぴあ TEL.0570-02-9999 (Pコード 251-128)
<http://www.1000cello.vc/index.html>

Liberoba(リベロバ) The Concert

日 時／2015年6月18日(木)19:00開演

会 場／東京文化会館 小ホール

入場料／¥5,500

出 演／植草ひろみ(Vc)、中村由利子(Pf)

問 合／東京労音 TEL.03-3204-9933

長谷川陽子 チェロ・リサイタル

日 時／2015年6月24日(水)14:00開演

会 場／よみうり大手町ホール

入場料／¥4,000 (全席指定)

出 演／長谷川陽子(Vc)、青柳晋(Pf)

問 合／読売新聞東京本社 文化事業部
TEL.03-3216-8500

上森祥平×J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会 《大いなる沈黙》

日 時／2015年8月30日(日)

第1部：15:00開演 第2部：18:00開演

会 場／浜離宮朝日ホール

入場料／全席指定：¥3,500 (第1+2部通し券)

出 演／上森祥平(Vc)

問 合／ミリオンコンサート協会 TEL.03-3501-5638

事務局からのお知らせ

事務局次長 退任のご挨拶



チェロってね……

思えば日本チェロ協会との付き合いは2005年の「International Cello Congress」に始まる。神戸のポートピアに内外からチェリストが大集合し、息をする暇もないほど忙しいのに日々興奮の連続で、終わってみれば「チェロ、バンザイ！」と叫びだしたい心境だった。ぎっくり腰で広場で蹲ったり、何故か喧嘩したり泣いたり笑ったり。数年後、「第1回チェロの日」のフィナーレでパイプ・オルガンとチェロ・オーケストラの共演による「ラシーヌの頌歌」がサントリーホール大ホールで鳴り響いた時、自分の体がチェロになって共鳴している様な不思議な体験。

無伴奏から室内楽、オーケストラ、様々な楽器との共演、古典から現代、未来へと……縦横無尽なチェロの魅力に執りつかれて早や十年。なのに未だにチェロを弾かない（弾けない）！でもそれでいいのだ。チェロを始めたら仕事も家庭も顧みなくなりそうだもの……ね！

八反田 弘

事務局次長 就任のご挨拶



前任の八反田氏の退任に伴い、日本チェロ協会 事務局次長を拝命しました、高崎 森久と申します。

私は、昨年4月にサントリーホールへ参りましたが、実は前部署がチェロ協会事務局と同じ事務所内だったこともあり、チェロ協会は以前から近い存在でした。私自身は楽器には縁が無かったですが、クラシック音楽を聴くことは好きで、チェロの多彩な音色には心惹かれます。今回図らずも参画させていただくことになり、自分に出来る事で少しでも貢献したいと考えております。ご指導のほど、よろしくお願い致します。 サントリーホール総務部長 高崎 森久

■チェロ協会HPのご紹介

昨年10月の中旬にHPがリニューアルオープン致しました。リニューアル後、事務局からもタイムリーにお知らせ等を掲載することが出来ており、また、これまで以上に会員の方の利用頻度も高くなっています。HPから新規でご入会頂く機会も増えました。改めてHPの利用方法を下記にご紹介いたしますので、ぜひご活用下さい。

●探す・見る

- ①チェロの公演情報を閲覧することが出来ます。月別、カレンダーで検索することが可能です。
- ②チェロ協会の会員や、チェロ協会と親交の厚いチェリストを閲覧出来ます。チェロを習いたい、教えたい、演奏したい、楽団に入りたい等のご要望に合わせて活動地域・演奏カテゴリー別に探すことが可能です。

③会報のバックナンバーを閲覧出来ます。

●投稿する

①チェロに関連するイベントや公演情報を投稿することが出来ます。演奏活動やサークルの告知にお役立て下さい。ご自分が出演される公演に限定しなくても結構です。

②プロ・アマチュア関係なくどなたでもご自分を紹介するページを持つことが出来ます。

●登録する

毎月1回メールマガジンを受け取ることが出来ます。演奏会情報やマスタークラス、チェロサロン開講のお知らせ等をタイムリーに受け取る事が出来ますので、ぜひHPから『チェロ協会メールマガジン』へご登録下さい。尚、配信解除はいつでも自由に行っていただけます。

今後も充実した内容となる様、会員の皆さままでHPを盛り上げて頂ければ幸いです。ご協力よろしくお願いします。

■2015年度会員更新のお願い

新年度を迎えました。2015年度も会員継続ご希望の方は、会員更新の手続きをお願いいたします。詳細は別紙をご参照ください。尚、退会をご希望の方もご一報頂きますようお願いいたします。

■ご住所・メールアドレス変更についてのお願い

事務局からお送りするお便り・メールが住所・宛先不明で戻って来てしまうことが度々ございます。ご住所・メールアドレスを変更された場合は必ず事務局にご一報下さい。

編集後記

様々な方にお力添え頂き、第5回チェロの日も無事に終了しました。チェロ協会は様々な方のご協力によって成り立っているのだと改めて感じました。

チェロ協会が設立されて、2017年には20周年を迎えることになります。さらなる飛躍に向けて色々なアイデアを事務局や実行委員の中でも話し合っています。これからも皆さんの積極的なご参加やアドバイスなどをよろしくお願い致します。

渡邊 亮



日本チェロ協会会報 (JCS NEWS) 第43号 2015年4月17日発行

発行：日本チェロ協会

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階 私書箱509号 電話 03-3505-1991 FAX 03-3582-1310

発行人：堤 剛

編集：日本チェロ協会事務局

編集協力：三和プリンティング(株)